

官許 錦画百事新聞 第十二号

明治八年立月近江國
三矢友三郎の夢あり

勇吉ハ九ツと

十月月の如童

あまど讀書が

達者たるへ十月十午の

功ありて教師のあまどを指

さくも度く御免を願

つて居たりしが此程いん

啓繕ふて勤學

ふふ富阪村の學

校教師を仰付らる

先月七日に開校あり

清之感既深き後

次手実の文明の有る

死時小近江の名も高島

郡修學琢磨の清冷寺村

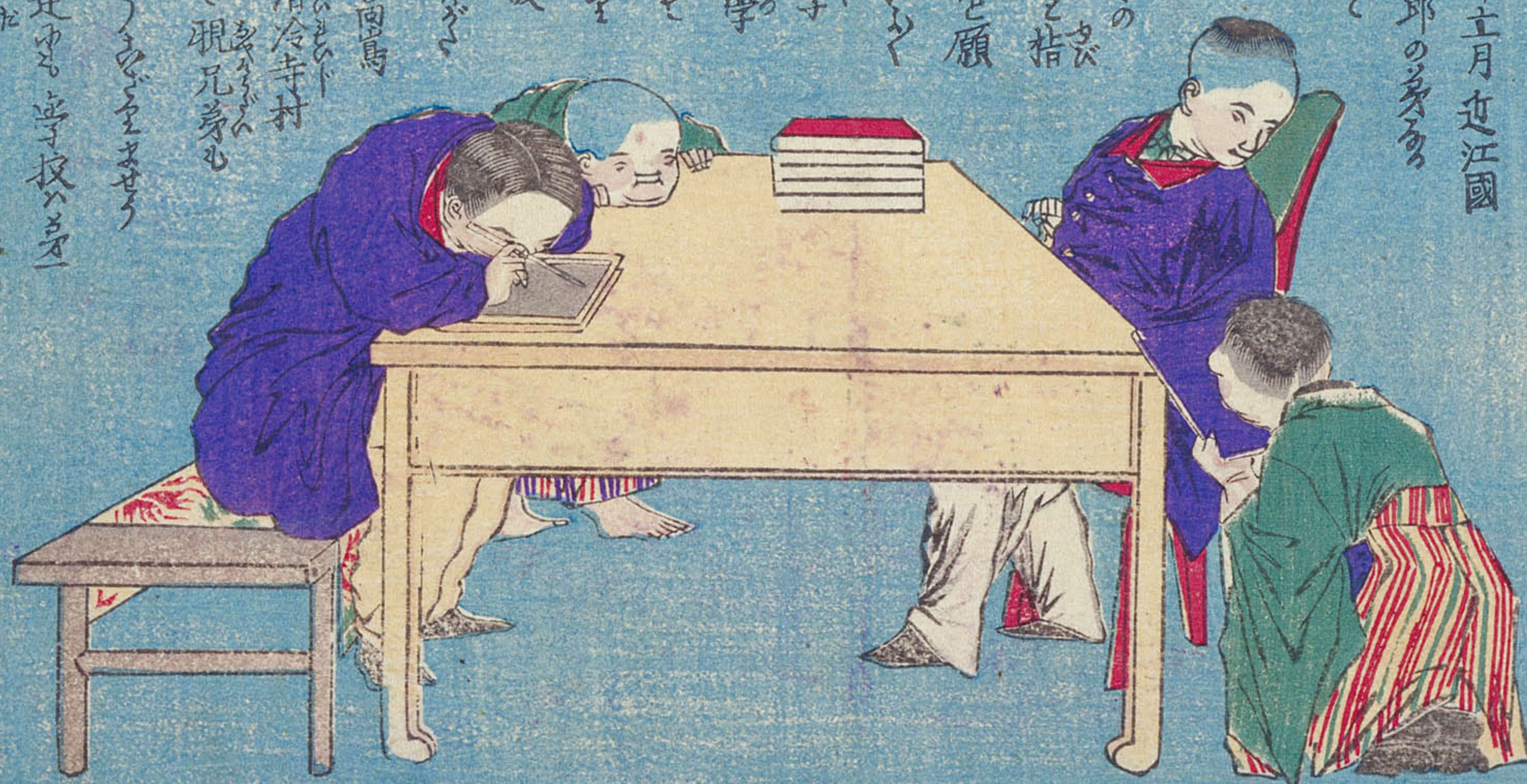
變て三矢の勇吉と現兄弟も

さんお小嬉しうとをませ

世の子達中も守校の第一

精を出しあまどと讀

くを二百四十四号小載



編輯人 前田素久
印刷人 前田素久